令和6年度 7月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数15回2 延べ従事補導委員数66人3 相談件数1件4 補導した少年数0人5 声かけ人数223人



7月の活動日誌から

7月1日(月) 街頭啓発活動(岩村田駅)

1・4班 (S・K) 記

概要

駅前に立ち始めた7時20分ころは、雨が止んでいましたが、すぐに本格的な降りとなりました。雨の中、高校生中心に行き交う方に「おはようございます!」と、あいさつし、『子ども・若者向け相談窓口』の紙片を付けたウェットティッシュを配りました。元気よくあいさつを返される方・シャイな方など、それぞれの反応でしたが、多くの方が受け取ってくれ、たくさん用意したウェットティッシュも途中でなくなってしまいました。その後、参加者全員で、駅の改札口から出てくる高校生らに「おはようございます!」と声をかけ続けました。あいにくの天気でしたが、それぞれの心が晴れやかになってくれたかと思いつつ、啓発活動を終えました。

7月2日(火)

12 班 専門補導委員 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町諏訪神社横の公園 → 取出町ふれあい公園 → 東田公園 → 原公園 → 城山公園 → 南部交番

活動の様子

生涯学習センターの『つどいのひろば』や『学習室』には、いつもよりも多くの中学生がいた。菓子やジュースを飲食しながらゲームをやっている子もいたが、真剣に勉強している中学生も多くいた。話を聞くと「明日、テストです」と答えてくれた。取出町の諏訪神社横にある公園では、小学6年の女児6名がジャングルジムに登ったりボール遊びをしたりして遊んでいた。原公園では、未就学児とその保護者が楽しそうに夕方のひと時を過ごしていた。城山公園に到着した時、生涯学習センターで行き会った小学6年の男児3名が駆け寄ってきた。その子たちは「さっき、近くの自動販売機でジュースを買おうとしていたら、知らないおばさんに『お金あげるから、このお金でジュース買っていいよ』と言われました。『いらない』と断りましたが、お金を自転車の前かごに勝手に入れてどこかに行ってしましました」と仔細を話してくれました。子どもの保護者に連絡するとともに警察に連絡し、交番で拾得届を出しました。子どもたちにとって、初めての経験で戸惑ったことでしょうが、手続き終了後「これからも困った時やどうしたらよいか悩んだ時には、親や先生、信頼できる大人に相談するように…」と話して別れました。

7月3日(水)

13 班 (A·M) 記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 中込中学校 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

活動の様子

空調の効いた駅の待合室を出ると、身にまとわりつくような暑さを感じた。このところ続けて熊が目撃されていることもあって、通学路を巡回した。この件について下校途中の中学生に尋ねると、学校から注意喚起されたと話してくれた。平賀新町公園では、遊具で遊ぶ姉弟を母親が見守っていた。近隣住民ではないが、公園の近くに用事があるときは、子どもを連れてこの公園を利用していると話してくれた。水上公園、成田公園に人影はなかった。橋場公園では、よく見かける年配の方が、2人のひ孫を遊ばせていた。成知公園には、大勢の子どもたちの姿があった。小学生は自転車に乗ったり、ゲームをしたりして、猛暑の中でも元気に遊んでいた。熊の目撃情報について話を聞くと、学校から下校時には十分注意するよう話があったとのことであった。テストが終わりやって来たという中学生のグループは、バレーボールを始めた。小さな子どもや保護者も含めると、今日は30人以上がこの公園を利用していた。

7月4日(木)

19班 (M·M) 記

巡回経路 望月支所 → 望月図書館 → 望月歴史民俗資料館 → 佐久良公園

- → 旧本牧小学校 → 並木団地公園 → 小平グランド
- → 望月児童館 → 布施温泉公園 → 若駒児童公園 → 望月支所

活動の様子

気温が 30℃を超える暑い一日だった。望月図書館でお話を伺うと「夕方から中学生が『学生席』を利用することが多い」とのこと。当日は、生徒の利用はなかったが「土日の利用が多く、ルールに従って利用している」とのことだった。市内の公園とグラウンドを見回ったが、どこも『人け』がなく静かだった。望月児童館は、児童が元気に遊んだり、本を読んだりして楽しんでいた。職員に伺うと「他の児童館と比べて、高学年の利用が多く、習い事を終えた後に利用する児童もいる」とのことだった。クッキングルームにエアコンが設置され、扇風機も使い、室温調整され、児童が快適に過ごせる環境整備をされていた。児童から元気にあいさつされた。児童は、健全に放課後の時間を楽しんでいた。

7月5日(金)

7班 (I・H) 記

巡回経路 佐久平駅 → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク

- → 佐久平サンスクエア → ねむのき公園
- → 大型スーパー内ゲームコーナー (①、②の2か所)

活動の様子

今日もたいへん暑く、汗だくの巡回となりました。文化祭の時期とも重なり注意深く巡回しました。小海線佐久平駅には、高校生2名の2組が電車待ちをしていました。あいさつを返してくれる明るい生徒でした。市民交流ひろばには5組の親子が水遊びを楽しんでいました。他の公園には人はおらず、大型スーパー内のゲームコーナー①には、数組の幼児を連れた親子がおり、大きな同ゲームコー

ナー②では、高校生がプリクラ前で順番待ち。その人数は、20 人をはるかに超えているようでした。文化祭の後は、こうして仲間とプリクラ撮影が恒例になっているとのこと。クラスTシャツ(クラスごとに作成したTシャツ)をまとって順番を待つのも楽しいひと時のように感じました。

7月6日(土) 夜間街頭補導(中込七夕まつり)

専門補導委員 記

巡回経路 中込七夕まつり会場およびその周辺

活動の様子

『中込七夕まつり』開催に合わせて、夜間の街頭補導活動を行いました。通 常は下校時間帯に活動していますが、今回は夜間の活動でした。また、通常は 人通りが少ない中での活動ですが、今回は人波で視界もきかず、歩行も困難に なる中での活動でした。会場内には、多くの露店が立ち並び、ステージではフ ァイアーダンスやロックバンドの演技、演奏が行われていました。午後9時に なろうとしていましたが、親と一緒に来た小学生や友達と一緒に来た中学生・ 高校生の姿がまだたくさんありました。会場の裏手にある公園の様子も確認し ました。横町公園には、男女の高校生がベンチに腰掛けて話をしていました。 「まもなく9時になるので、そろそろ帰宅したら」と声かけしたところ、「わか りました」と素直に返事をしてくれました。また、同じ公園の砂場には女子高 校生6名がおりました。同じ高校の友人のようでした。ほとんどの子が中込周 辺に住んでいるとのことでしたが「(遠くに住んでいる子の) 母親が迎えに来る ので、到着するまでもう少し話をしていてもいいですか」と尋ねられました。 若い女性が一人で公園にいるよりも大勢でいた方が安心だと思い、「彼女のお母 さんが来るまで一緒にいてあげてね。その後、気をつけて帰ってね」と助言し て別れました。人出はありましたが、穏やかな祭り会場でした。

7月8日(月)

3班 (T・H) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 大型スーパー → 駄菓子店 → 東児童館

活動の様子

大型ゲームセンター駐車場に集合し、街頭補導活動に出発しました。車両で移動中、元気よく大声を出して野球の練習をしている光景が目に入りました。このグラウンドは、市内の中学校専用グラウンドで、私たちの姿に気づいた中学生から、大きな声で「こんにちは」「こんにちは」の連呼のあいさつをいただいた。野球部の監督が私たちのところにやってきて、練習内容や東信大会・県大会など試合結果、普段の指導内容などについて説明していただいた。県外出身の生徒がいることや寮生活の様子などについてもお話していただいた。特に親元を離れ、寮生活を始めたばかりの1年生のお話があり、大変さを感じました。次に、大型スーパーに行き、店長さんとお話しました。「フリーWI-FI」環境が整っているため、中学生が長居して迷惑をかけたことがあったようですが、店長によると「最近は、そのようなことはありません」とおっしゃっていました。訪問時にも、児童生徒の姿はありませんでした。駄菓子店は定休日でした。東児童館では、元気よく子どもたちが庭で遊んでいました。本日は、昨日のよう

な暑さではなく、いつも通りのパトロールができました。

7月10日(水)

9班 (T·H) 記

巡回経路 生涯学習センター → 道の駅 → 旧大沢小学校

- → 取出町ふれあい公園 → 東田公園 → 中嶋公園 → 原公園
- → 城山公園 → 生涯学習センター

活動の様子

今日は雨の一日。生涯学習センターでは、小学生・中学生 10 人ほどが学習していました。その中の中学生 2 人と話をすることができました。「夏休みは楽しみだけどクラスの友だちと会えないのがつらい」と話してくれました。その後、外の活動に出かけましたが、雨のためか巡回する公園には子どもの姿はみられませんでした。ところが、巡回最後の城山公園には、自転車で遊びにきていた児童 6 名が四阿(あずまや)でゲームを楽しんでいました。しばらくすると全員が雨中にも関わらず買い物に行くと出かけて行きました。

7月12日(金)

16 班 (T·Y) 記

巡回経路 あいとびあ → コスモホール → 臼田図書館 → 切原児童館 → 五稜郭公園

活動の様子

激しい雨の中での巡回だったので、屋外で遊んでいる子どもはいなかった。 臼田図書館にも子どもたちの姿はなく、親子で訪れていた子どもが一人いた。 普段から子どもたちの来館はあまりない様子。切原児童館では、楽しそうに塗り絵・折り紙・パズルをしている子どもたちがいた。今年度の1年生の登録は 14名もあったとのことで、昨年より利用児童数がかなり増えたとのこと。

7月16日(火)

18 班 (Y·M) 記

巡回経路 浅科支所 → 八幡神社公園 → コンビニ → 泉公園 → 五郎兵衛記念館 → 菖蒲池公園 → 浅科支所

活動の様子

梅雨の合間で少し晴れ間の時間もある日でした。中学3年生の女子生徒3名が信号待ちの際、車道の信号が赤になるのを見て渡りだしましたが、歩行者側の信号機もまだ「赤」、歩行者側の信号が青に変わる前に渡りだしたことから、専門補導委員から「ちょっとフライングだったね」と注意喚起の言葉がかけられました。菖蒲池公園では、中学3年生の男子生徒2名が自転車で遊びに来ており、「将来の夢は?」と聞いてみると二人ともに

「農業をやる」と言いました。本日は声かけするとどういうわけか、中学3年生が多いと思い、尋ねたところ、

「3年生は、三者面談で学校が午後4時で終了したからだと 思います」と返事をしてくれました。

7月17日(水)

8班 (N·H) 記

巡回経路 浅間会館 → 紅雲台団地内公園 → 安原公会場 → 東会館 → 浅間会館

活動の様子

雨が落ちて来そうな曇り空、『今日は屋外には子どもの姿はないだろうな』と思いつつスタート。集合場所の浅間会館学習室の利用者は一人のみであった。東会館学習室は利用者がいなかった。紅雲台団地内の公園では、サッカーボールで遊ぶ子どものほか、滑り台で7~8名の小学生が遊んでいた。学校から帰宅後、申し合わせて集まったようだ。安原公会場の庭で子どもたちが遊ぶ姿をよく見かけるが、今日はそのような光景はなかった。佐久平駅近くの大型スーパーのフードコートで高校生らが学習ノートを開いている姿が多いが、浅間会館・東会館でももっと利用があってもいいのかなと感じた。

7月18日(木)

17 班 (I·K) 記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園 → 龍岡五稜郭 → 五稜郭公園 → 稲荷山公園 → 下の宮公園 → 臼田交番

活動の様子

いつも元気に野球を楽しむ子どもたちを見たかった下の宮公園でしたが、この日は、『人け』もなく閑散としていました。次に田口小学校跡地の龍岡五稜郭を訪ねました。お堀の水中から巨大な錦鯉が顔を出したときは驚きましたが、やはりこの場所も『人け』はありませんでした。龍岡五稜郭に隣接する五稜郭公園では、お父さんと子どもの二人が元気に遊んでいました。この公園は整備が行き届いており、もっと利用されると良いなと思います。稲荷山公園では、みるからに仲のよさそうな家族連れが遊んでいました。聞くところによれば、横浜から実家へいらしたとのこと。混雑した都会と違い、のびのび遊べる田舎を気に入っているようです。最後にもう一度、

遊べる田舎を気に入っているようです。最後にもう一度、 下の宮公園を巡回しましたが、残念でしたが、やはり誰も いませんでした。暑さのせいでしょうか。次回に期待します。

7月19日(金)

15 班 (S·N) 記

巡回経路 中込駅 → グリーンモール → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館 → 佐久総合運動公園

活動の様子

梅雨明けが発表され、蒸し暑い中、中込駅をスタートするとグリーンモールにある複合施設の管理人の方から相談がありました。2か月くらい前から夕方になると頻繁に高校生と思われる男女2人が複合施設前の広場等で不適切な迷惑行為をしているので何とかして欲しいとの内容でした。早速、専門補導委員さんが警察に事情を説明して対応を相談されました。不快な思いをしている人もかなりいるのではないかと推測されます。定期的な警察や地域の方による見回り、速やかな通報により、このようなことがなくなることを期待したい。これから夏本番、誰もが楽しく気軽に立ち寄れる場所であることを願うばかりである。佐久城山児童館では、多くの児童が暑い中、庭で元気に遊んでいた。

7月20日(土) 夜間街頭補導(岩村田祇園祭) 5・6班(T・R) 記 活動の様子

岩村田祇園祭に併せて夜間の街頭補導活動を行いました。待ちに待ったお祭 り、家族連れはじめ多くの人が街に繰り出していました。どの出店(露店)に も長い行列ができ、整然と順番を待つ光景が目に付きました。今夜は、主に本 通りではなく脇の通りを重点的に巡回しました。昼間はどこも同じ明るさです が、少々暗いなと感じる場所が何か所かありました。若宮公園には、ここに停 めてお祭りに行ったであろう自転車が数台置かれていました。「野球しようぜ!」 の影響か、バット型の遊具(玩具)を手にした子どもの姿が多くありました。 お祭りを楽しみにしていた人々のたくさんの笑顔に触れることができました。 そんな夏の一夜の巡回でした。

7月25日(木) 2班 (U·R) 記 **巡回経路** 大型スーパー → 駄菓子店 → 枇杷坂公園 → ゆりのき公園 活動の様子

30℃を超える暑さの中での活動でした。近隣の小・中学校は本日が終業式で、 下校中の児童や生徒の姿はあまり見かけませんでした。最初に訪問した駄菓子 店は、本日定休日でした。鼻顔公園では、親子連れや子ども、マレットゴルフ を楽しんでいる人が20人ほどいました。このほかに、大勢の子どもと大人が一 緒になってサッカーをやっているグループがありました。お話を伺うと、放課 後デイサービスの活動として行っているとのことでした。公園内は木陰が多く、 比較的涼しく過ごせました。枇杷坂公園とゆりのき公園には、誰もいませんで した。

10·11 班 (S·T) 記 7月27日(土) 夜間街頭補導(野沢祇園祭) **巡回経路** 生涯学習センター → 野沢商店街 → 中嶋公園 → 城山公園 → 生涯学習センター

活動の様子

野沢祇園祭にあわせ、野沢商店街や公園を巡回。商店街は人が多かった。露 店が出ていて山車(だし)もあった。中・高校生の友だちどうしで来ている人 も複数いた。にぎやかだったが、けんかなどのトラブルはなかった。中嶋公園 は人もおらず暗かった。途中、バイクを所有する1名と友だちあわせて4名の 男性が話をしており声をかけた。「安全運転に努めるよう。」伝えると「気をつ けます」と返事を返してくれた。城山公園では、数名が休息を

とっているようにみえたが静かであった。消防団の方も多数 警備に出ているようであった。懸念された集合場所とした

駐車場もいくつかの空きがあり、駐車可能であった。

≪ 7月の活動を終わって。 専門補導委員 S・T≫

『地球温暖化』問題は、私たちが住む地球全体の問題となっており、その主な原因が人の活動によって排出される二酸化炭素(CO2)であるようです。そのため、二酸化炭素の量を抑制させるため、電気やガスの使用量抑制、家庭ごみの抑制、買い物時のマイバック持参などに取り組んでいます。しかしながら、『地球温暖化』問題は益々深刻になり、最近では『地球沸騰化』とまで言われております。かつては、避暑地と言われていた信州ではありますが、今夏の佐久市は35℃を超える猛暑日もありました。このような猛暑・酷暑・激暑の中、

7月には、通常の街頭補導活動のほか

街頭啓発活動

夜間街頭補導活動(中込七夕まつり・岩村田祇園祭・野沢祇園祭) 県青少年補導活動推進大会(小諸市で開催)

が行われ、多くの補導委員の方に参加していただき、ありがとうございました。

8月には、すでに実施済みのものもありますが、

夜間街頭補導活動(臼田よいやさ・浅科どんどん・榊まつり)

学校訪問 28日(水)中佐都小学校 5班

29日(木)佐久長聖中学校 2班

が予定されています。よろしくお願いします。

さて、7月の活動を終えて、補導員の皆さまに提出していただいた補導日誌をまとめている中、第106回全国高等学校野球選手権大会が始まりました。今年は阪神甲子園球場誕生100周年ということです。高校球児たちの熱い夏を一緒に満喫できればと思っています。

ところで、野球の話ですが、野球にはサインプレーと言われるものがあります。 『攻め(攻撃)のサイン』『守り(守備)のサイン』などです。攻撃では多様なサイン があります。盗塁・送りバント・スクイズ・ヒットエンドランなどです。サインは、 チームを勝利に導くべく、周りの状況、イニング、アウトカウント、ボールカウン ト、打順、選手の性格など様々な要素を考慮しながら、ローリスク(失敗しても被害 は最小限)、ハイリターン(チャンスの拡大)を企てます。当然、サインの見落としは チームの戦略に致命的なダメージを与えることとなります。一方、守りでは、攻撃 側の作戦を想定して守備体制を取ります。走者の進塁を防ぐシフト、例えばバント シフトや投手、捕手からの牽制球などもサインで行うケースがあります。走者を誘 い出すピックオフプレーといったサインプレーもあります。守る内野手が外野手に 投球のコース・球種を伝達する簡単なサインも守りのサインの一つでしょう。

私たちが行っている街頭補導活動の目的は、青少年を健全に育成し、非行に陥り そうになった青少年を早期に発見し、補導の手を差し伸べ適切な処遇を行うことか と思います。サインの質は異なるかもしれませんが、街頭補導活動を行っている時、 子どもたちから発せられるサインを見落とすことなく、敏感に感じとることができ るよう、積極的な声かけをしていきたいと思います。

テレビでは、流れる汗を気にせず、キラキラした瞳で白球を追いかけている高校 球児のすがすがしい姿が、連日テレビ画面に映し出されています。社会の宝である 子どもたちが、この高校生のようにキラキラしたさわやかな青年に成長して欲しい。 また、その一助になれればと思うこの頃です。